乙貞

第１０３号　通巻１８巻第７号
１９９９年３月31日　発行

守山市立埋蔵文化財センター
電話・ＦＡＸ　０７７－５８５－４３９７

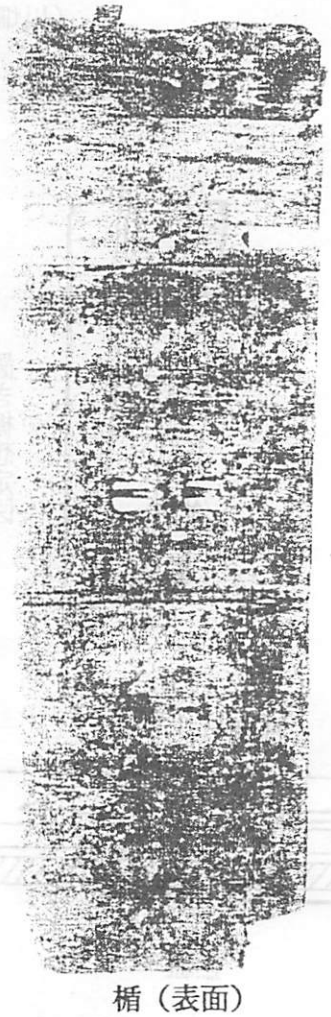
〒５２４－０２１２
守山市服部町２２５０番地

弥生時代の楯を発掘

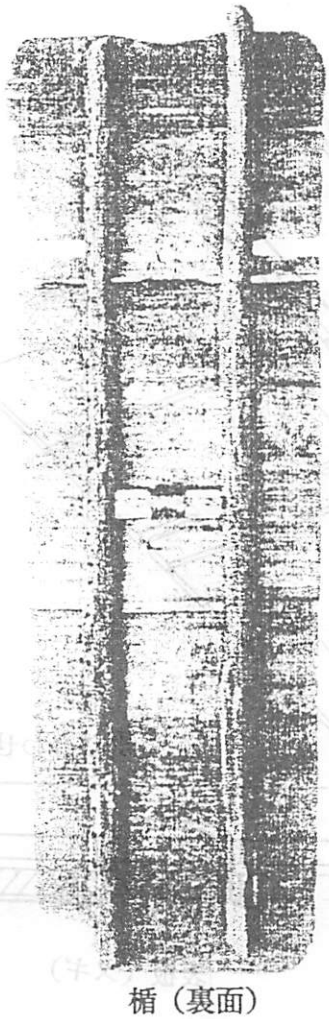
１．下之郷遺跡29次調査（下之郷町）

下之郷遺跡は弥生時代中期後半の巨大な環濠集落で、ムラのまわりに幅６～８ｍ、深さ約２ｍもある濠が３～９条も掘られています。巻頭の写真にある木製の楯は、この環濠の中でも最も内側の濠の底から見つかりました。これまでに行った環濠の調査では、大量の土器や石器などと共に戦闘に使われたと考えられる武器や武具が発見されています。これらの中には焼け焦げた弓や折れた銅剣、するどく磨かれた石剣、環状石斧、戈、石鏃など、当時の激しい戦いの様子がしのばれるものがあります。今回の楯も想像をたくましくすれば、環濠の外から放たれた矢を防ぐために使われたものが濠の中に転落したものとは推測できないでしょうか。

（川畑）



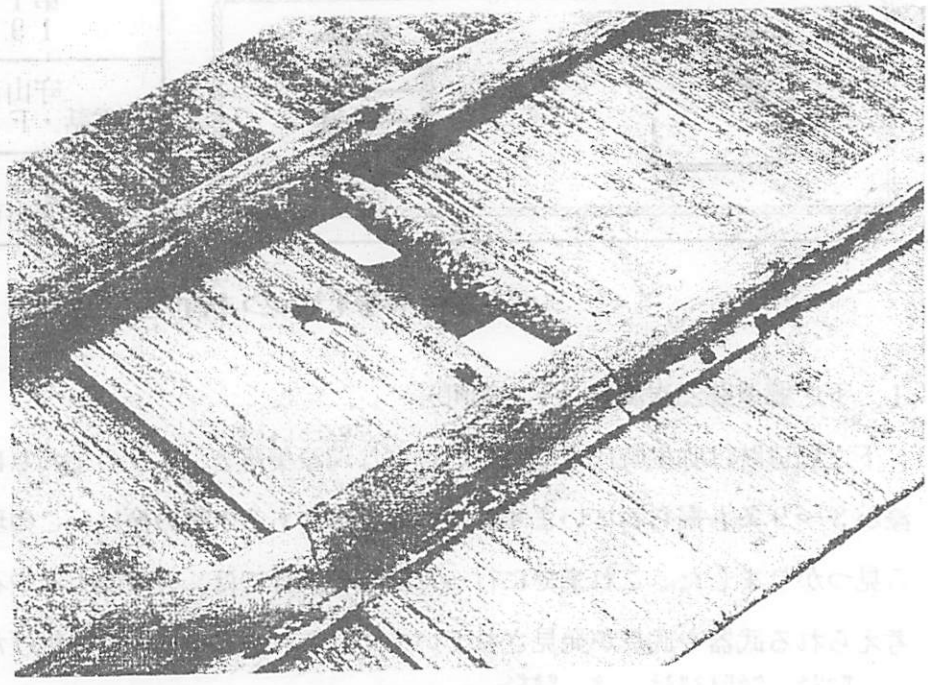
楯（表面）



楯（裏面）

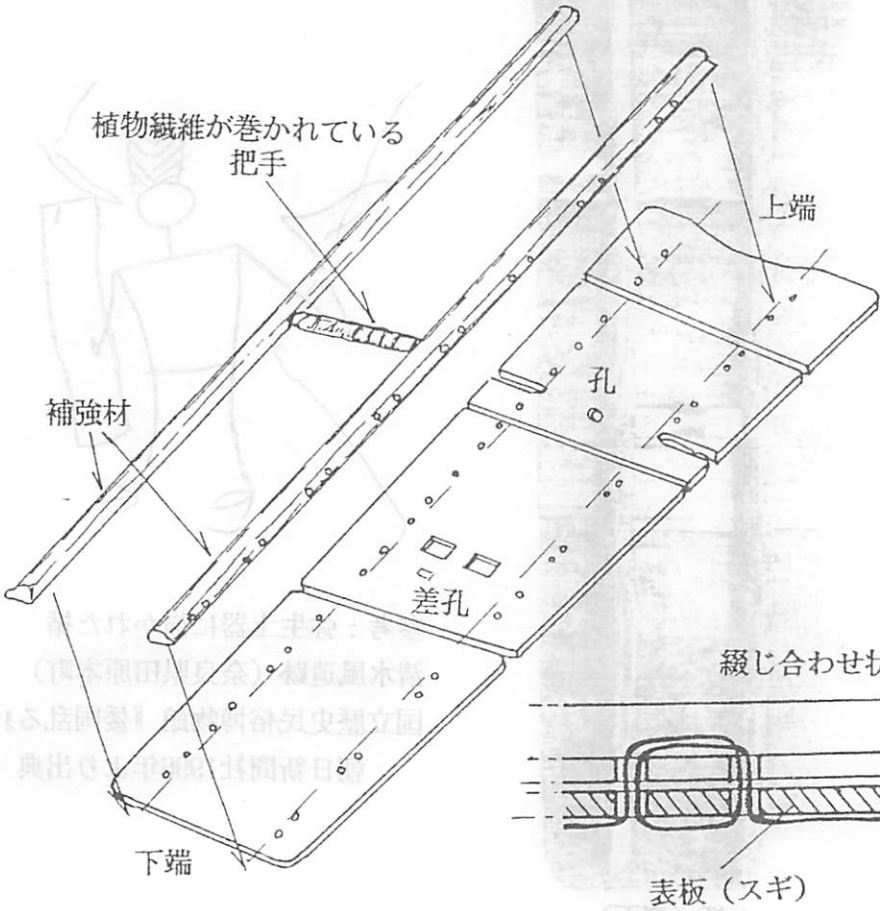
参考：弥生土器に描かれた楯
清水風遺跡（奈良県田原本町）
国立歴史民俗博物館『倭国乱る』
朝日新聞社1996年より出典

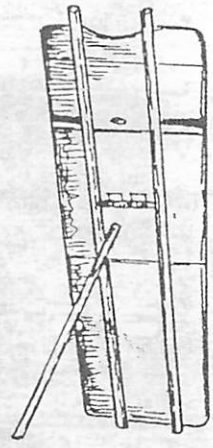
発見された楯は全長105㎝、幅は上端で36㎝、下端で約30㎝の大きさで、ほぼ完全な形を残しています。スギの柾目板４枚を横に並べ、裏面に２本の補強材（サカキ）を通し、植物を撚った紐で綴じ合わせています。２本の補強材の中央部には把手が渡してあり、握りの部分には植物繊維が巻かれていました。表板は、たいへん薄く作られており、表面に残る加工痕から鉄製の前手斧で仕上げられたものと推定されます。これまでに出土している弥生時代の楯は板材にはモミを、そして表面に顔料を塗ったり、刺し縫いをしているものが一般的ですが、今回のものは非常に珍しい形式のものといえるでしょう。



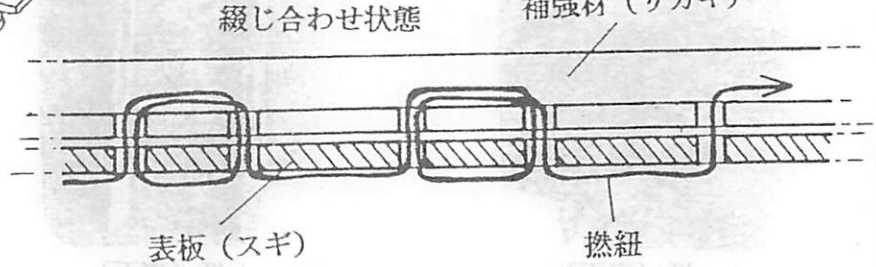
楯（把手部分）

（川畑）

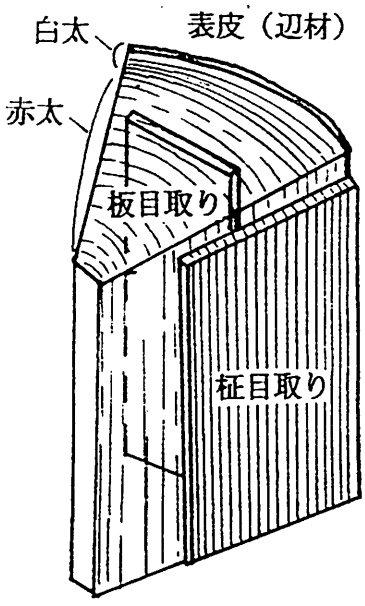




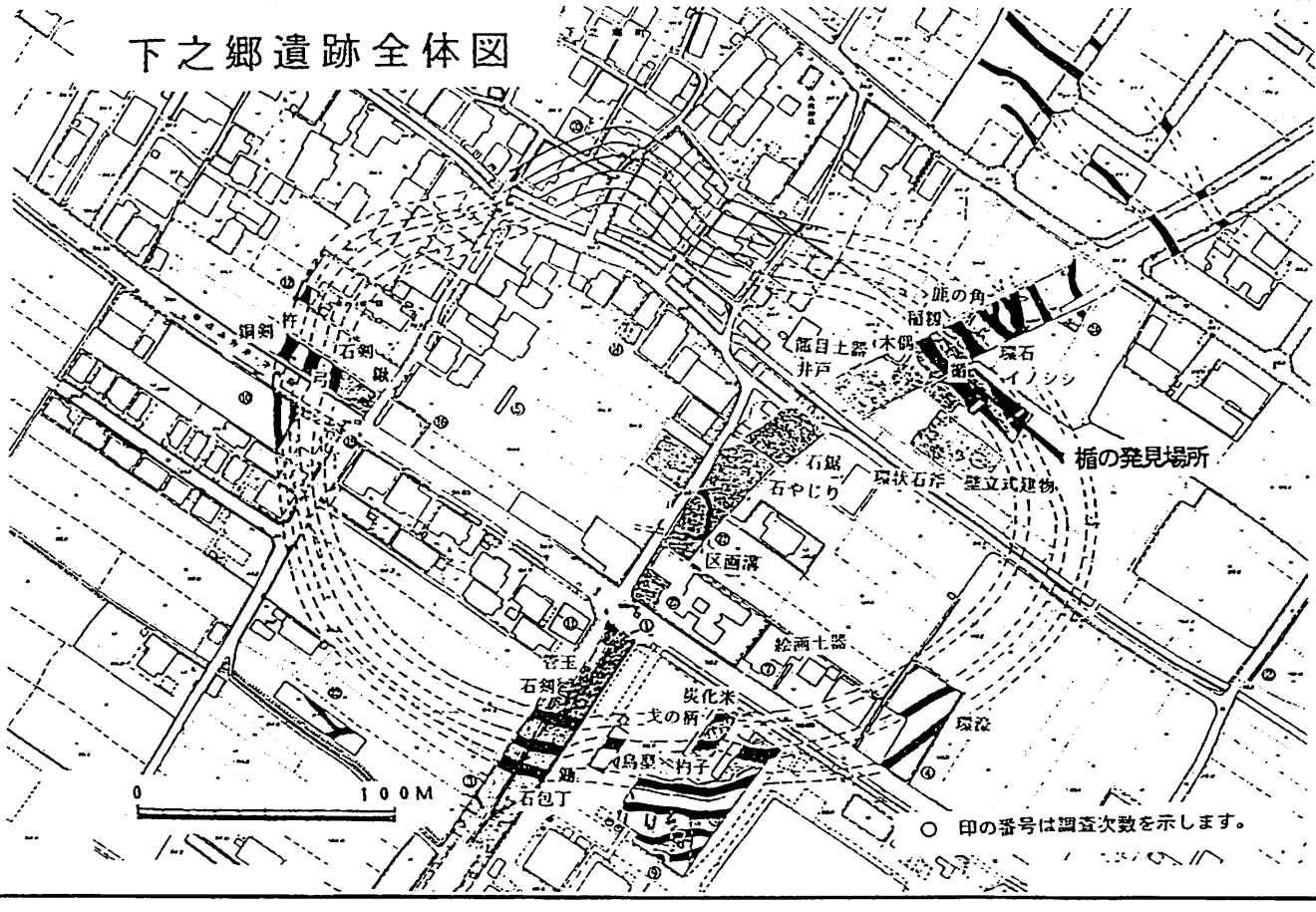
置き楯想定図



年輪を調べてわかったこと



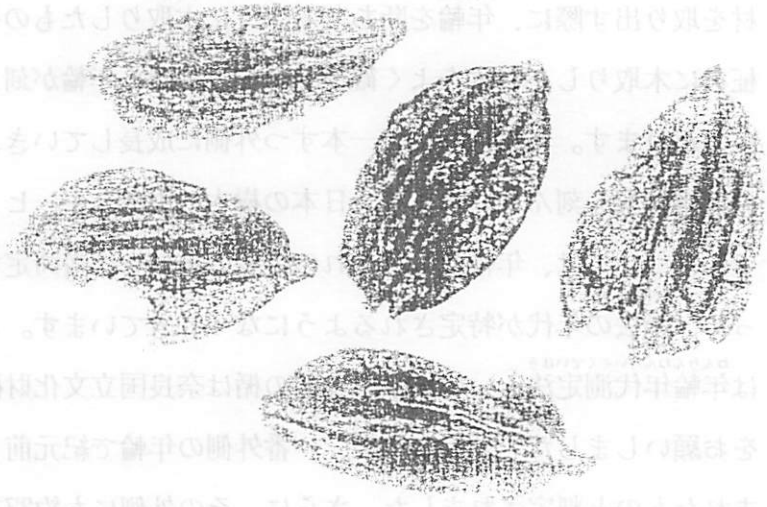
この楯の表板に使われたのはスギの柾目板です。柾目とは、樹木から材を取り出す際に、年輪を断ち割るように木取りしたものをいいます。柾目に木取りした材木をよく観察すると、細かく年輪が刻まれているのがわかります。年輪は一年に一本ずつ外側に成長していき、その年ごとの気候状況を刻んでいきます。日本の樹木の中でスギ、ヒノキ、コウヤマキについては、年輪のそれぞれの生長の違いを比較同定することによって、過去の年代が特定されるようになってきています。この分析方法は年輪年代測定法といいます。今回の楯は奈良国立文化財研究所に分析をお願いしました。分析の結果、一番外側の年輪で紀元前２２３年に刻まれたものと判定されました。さらに、その外側にも約37本の年輪があることが推測されたため、この楯に使用された樹木は紀元前１９０～１８０年頃に伐採されたものと推定されました。この暦年代は弥生時代中期の年代を考えるうえで重要な手がかりとなります。それは、楯が出土した土層から弥生時代中期後葉の土器がたくさん出土しているからです。しかし、求められた暦年代を即、土器の使用された年代と断定するには問題があります。それは樹が伐り倒されてから環濠に放棄されるまで、転用（再利用）や楯として使用された期間も想定し、慎重な検討が必要だからです。弥生時代の暦年代を決めるには、さらにたくさんの年代測定結果を得ることが必要と思います。今後の進展に期待します。　（川畑）



弥生の「稲籾」見つかる

2．下之郷遺跡25次調査（下之郷町）

都市計画道路建設に伴う調査で検出された井戸や環濠の底から多量の稲籾が見つかりました。見つかった稲籾は約300粒（一粒の大きさは長さ５㎜、幅２㎜程）あります。遺跡から見つかる米は黒く炭化しているものが多いのですが、下之郷遺跡で発見されたものは黄色の籾殻がそのまま残っているものがあるなど、保存状態はとても良好でした。今回、この稲籾の伝来ルートや品種＊を解明するために、静岡大学の佐藤洋一郎先生にＤＮＡ鑑定による分析をお願いしました。分析の結果、下之郷遺跡の稲籾は温帯ジャポニカと熱帯ジャポニカが混在しており、それぞれ多様な品種があったことがわかりました。このことから、当時下之郷遺跡付近で行われていた稲作は、品種ごとに別々の田んぼに植えていたか、多くの品種を一つの田んぼに植えていたことが想像されます。稲は品種により成熟時期が異なるため、風水害などの災害にあった場合でも、すべての稲が全滅してしまうというようなことがないように工夫されていたのではないかと考えられます。



下之郷遺跡出土稲籾

下之郷遺跡では保存状態の良好な植物遺体が多数出土しており、これらを総合的に分析することにより、稲作も含めた生業の状態や周囲の環境など、当時の様子を復元することがより可能になることでしょう。

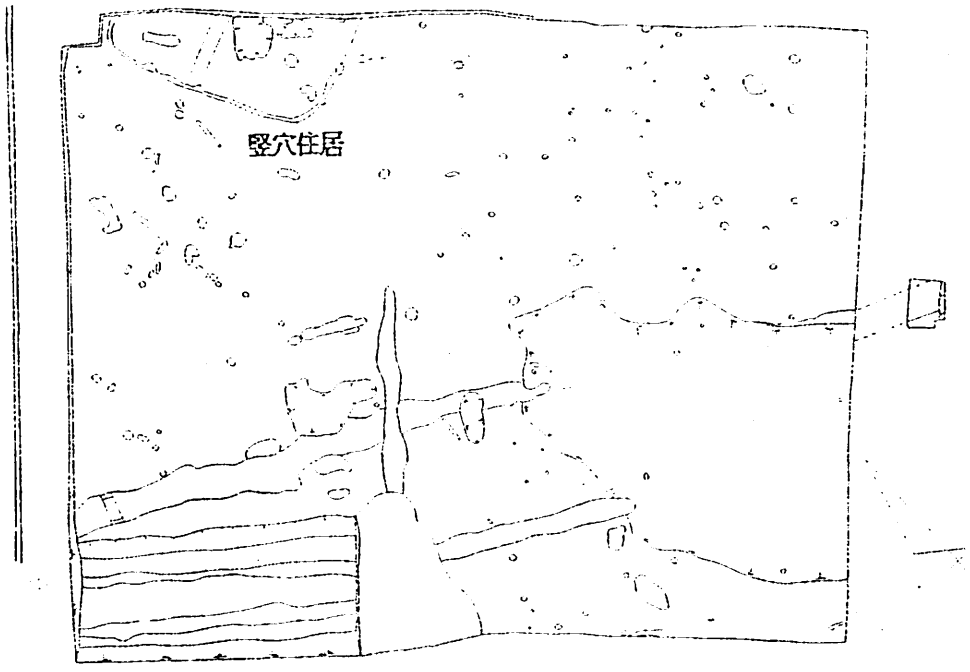
（川畑）

＊ 米の分類は長粒種のインディカと単粒種のジャポニカに大きく分かれ、ジャポニカには水稲に適する温帯ジャポニカと陸稲に適する熱帯ジャポニカがある。現在、日本で生産されている米はほとんどが温帯ジャポニカである。

3．伊勢遺跡54次調査（伊勢町）

共同住宅の建築に先立ち、確認調査を実施しました。その結果、竪穴住居１棟、溝２条のほか柱穴等を検出しました。竪穴住居は一辺６ｍを測る方形住居で、壁際に幅10㎝の周壁溝が巡っていました。床面までの深さは５㎝と浅いことから、かなり削り取られていることが予想されます。このほか、東西方向の溝が２条検出されていますが、これまでの調査などから８世紀以降の溝であると推定されます。柱穴については規則的に配列しておらず、建物として想定することはできませんでした。なお、調査区の西隅は一段低くなっていて、遺構を検出することはできませんでした。

（伴野）

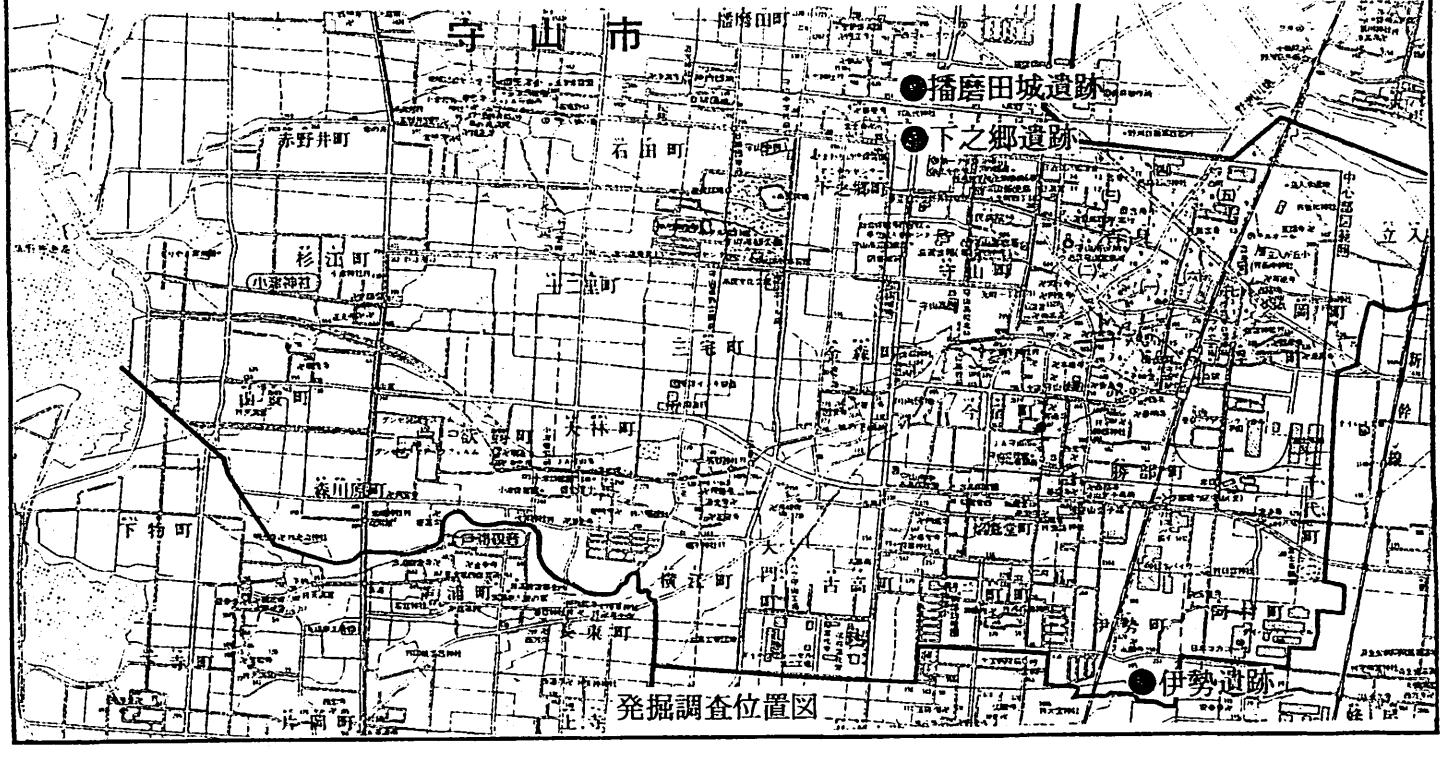


伊勢遺跡遺構平面図　　0　20m

4．播磨田城遺跡１次調査（播磨田町）

今年度の調査として、約1,600㎡を終了しました。前号で一部報告した遺構に加え、新たに中世の井戸８基と土壙墓（どこうぼ）１基が見つかりました。

井戸の残り具合からその構造を見ると、曲物（まげもの）を１段から３段積み上げたもの、桶（おけ）を使ったもの、石組のものとバラエティに富んでいます。また、土壙墓は長さ約80㎝、幅約60㎝の楕円形をしており、少し掘り下げると周囲が赤く焼けており、さらに掘り下げていくと炭に混じって骨片が出土しました。このことから火葬墓（かそうぼ）の可能性が考えられます。　（畑本）



平成10年度発掘調査一覧

番号	遺跡名	調査地	調査期間	調査面積/開発面積	調査原因	担当	備考	乙貞掲載号
1	阿比留遺跡（4次）	小島町字高落1735－1番地	9/8	264㎡	個人住宅	伴野		
2	石田遺跡	石田町字野田1152番地	10/19	134.7㎡	農用倉庫	伴野		
3	石田三宅遺跡	石田町字野田1180番地他	5/15～1/29	2,625/3,350㎡	道路改良工事	藤原		99～102
4	伊勢遺跡（48次）	伊勢町91番地	5/21～6/19	150㎡	重要遺跡確認調査	伴野	平面調査	99
5	伊勢遺跡（49次）	阿村町字上番田143－1番地	9/16～10/23	1,856㎡	工場建築	伴野	平面調査	
6	伊勢遺跡（50次）	伊勢町字南東浦92・93番地	10/12～11/12	1,246㎡	共同住宅	伴野		
7	伊勢遺跡（51次）	伊勢町79－1番地	11/2～11/20	500㎡	重要遺跡確認調査	伴野	平面調査	
8	伊勢遺跡（52次）	阿村町156番地	11/20～12/25	500㎡	重要遺跡確認調査	伴野	平面調査	102
9	伊勢遺跡（53次）	阿村町157－1番地	12/4～12/18	500㎡	重要遺跡確認調査	伴野	平面調査	102
10	伊勢遺跡（54次）	伊勢町584番地	2/8～2/18	500㎡	共同住宅	伴野	平面調査	103
11	焔魔堂遺跡	焔魔堂町字二反長104－1番地他	4/21～11/2	3,600/9,851㎡	宅地造成	中村		98～102
12	大洲遺跡	阿村町字上大洲137－1番地	12/14～12/17	300/785.9㎡	バレエ教室	岩崎	平面調査	
13	金森東遺跡（12次）	守山三丁目字太田　他	4/15～9/1	2,000/10,000㎡	区画整理	小出		98～101
14	酒寺遺跡（47次）	播磨田町平成の里3040番地	7/22～7/27	391/82㎡	店舗	小島		
15	酒寺遺跡（48次）	播磨田町平成の里3115番地	12/11～12/8	230/87㎡	共同住宅	大岡		102
16	酒寺遺跡（49次）	下之郷町字シノ191－1番地	3/11～3/19	223.70/849.83㎡	共同住宅	川畑		
17	下之郷遺跡（27次）	下之郷町字北黒田671－7番地他	5/15～12/25	1,300㎡	道路改良	川畑		98～103
18	下之郷遺跡（28次）	下之郷町676番地	10/6～10/9	40㎡	重要遺跡確認調査	川畑	平面調査	
19	下之郷遺跡（29次）	下之郷町210－1番地	11/5～1/18	1,241㎡	店舗	山崎	平面調査	102
20	下之郷遺跡（30次）	下之郷町字椿本622番地	9/28	457.63㎡	個人住宅	伴野		
11	下之郷遺跡（31次）	下之郷町215－1番地	11/20～1/8	1,157㎡	重要遺跡確認調査	山崎	平面調査	102
22	下之郷遺跡（32次）	下之郷町634－1番地	2/1～3/26	590㎡	個人住宅	川畑	平面調査	
23	正福寺遺跡	下之郷町699番地	1/26	234.36㎡	個人住宅	伴野		
24	高関遺跡	二町町字北上代6番地　他	9/17～11/18	1,514/2,094㎡	宅地造成	畑本		101
25	塚之越遺跡（14次）	古高町字正楽242-2-3、243、243-2	11/20～12/10	350/998㎡	共同住宅	小出	平面調査	102
26	堂ノ北原遺跡	吉身三丁目字下羽賀634-1、636-1	7/7～7/14	420/2,638㎡	店舗	畑本		100
27	中島遺跡	三宅町字隠田224 他	4/15～7/31	1,000/3,213㎡	大学	岩崎		99
28	長塚遺跡	小島町1776－3番地	6/29	561㎡	農用倉庫	伴野		
29	長塚遺跡	中町町字六ノ坪20－2番地	10/23	298.77㎡	個人住宅	伴野		
30	播磨田城遺跡	播磨田町字広畑、下広畑531番地	12/1～3/19	1,500/8,000㎡	宅地造成	畑本		102～103
31	播磨田東遺跡	播磨田町字細畑280－5番地	6/10	169.37㎡	個人住宅	伴野		
32	本像寺遺跡	今宿町中東浦16－1番地	8/26～8/31	170.72㎡	個人住宅	伴野		
33	益須寺関連遺跡	吉身六丁目字園田156番地	2/1～2/9	225/667㎡	店舗	小出		
34	山田町遺跡（1次）	勝部町山田町1177-1、1178-1番地	8/10～1/27	3,500㎡	宅地造成	小島		100～102
35	吉身北遺跡（18次）	勝部町286-1、289番地	6/1～7/28	2,000/2,521㎡	立体駐車場	大岡		99～100
36	吉身北遺跡（19次）	勝部町309番地	4/28	82.95㎡	個人住宅	伴野		
37	吉身中遺跡	守山二丁目591－2番地	1/20	304.99㎡	個人住宅	伴野		
38	吉身中遺跡	吉身三丁目6－3番地	3/17～3/18	100/685㎡	公文書館	大岡		
39	吉身西遺跡（87次）	守山四丁目1286番地他	9/24～9/30	172.45/546㎡	共同住宅	大岡		101

なお、上記以外にも住宅建築や擁壁工事、上・下水道工事などに伴う立会調査と遺跡の有無を確認する確認調査も100件近く実施しています。